

# OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



## プロフィール (Profile)

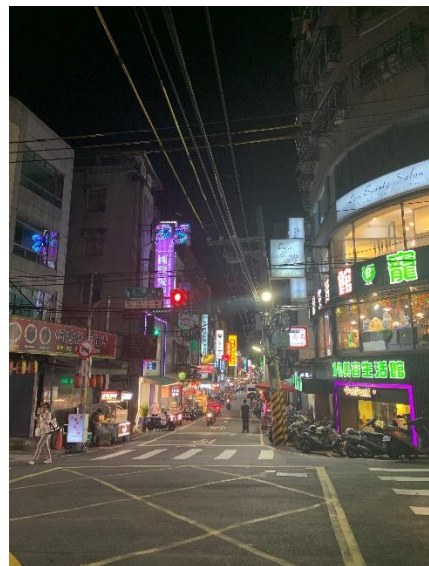
氏名 (Name) C.M  
所属 (School) 現代システム科学域 環境システム学類  
学年 (Grade) 3 年  
留学先 (Name of overseas institution)  
台湾 淡江大学  
留学期間 (study abroad period)  
2019/8/31~2020/1/11  
(協定大学への交換留学)  
記入日 (Date) 2020/1/31

交換留学とは … 本学に在学扱いのまま海外協定大学に留学できる制度です。留学中は本学に学費を納入し、留学先大学の授業料は免除されます。

## 留学レポート Study Abroad Report

私は台湾の淡江大学に 1 学期間交換留学で滞在しました。なぜ留学先に台湾を選んだのかというと、もともと台湾には旅行や文化交流などで行ったことがあり、台湾の食事や文化、台湾人の優しさなどから台湾のことが大好きだったことと、治安の良さ、日本からの近さ、物価の安さ、さらに台湾人には親日家がとても多いことなどを考慮して日本人が長期で滞在するにはとても過ごしやすい国だと考えたからです。実際に過ごしてみてもマイナスに感じることは特になかったので留学を考えている学生にとってもおすすめしたいです。

今回私が滞在した台湾の淡水という地域は、台北より北に位置する夕日の美しい街です。台北からは MRT で 40 分ほどでアクセスも良く行き来しやすいため、週末にはよく台北に出かけに行きました。観光スポットでもあるため、台北から足を延ばして淡水まで来る観光客もよく見かけました。



私の留学先である淡江大学では英文学を専攻しました。淡江大学では留学生を多く受け入れており英語開講の授業がとても充実していたことが私が淡江大学を選んだ理由の一つです。渡航前に中国語はほとんどできませんでしたが、私が選択した授業のほとんどが英語開講だったので授業で困ることはなかったです。また、週 4 日あった中国語の授業のサポートのおかげで中国語も伸ばすことができた実感しています。

淡江大学では、留学生は一部の授業を除いて学科に関係なくどんな授業でも受講できます。私は英文学科に所属していましたが、興味のある国際学科の授業もいくつか取りました。ただ交換留学なので府大で交換する単位がたくさん必要ならそれも踏まえて授業を選ばないといけないと思います。府大の授業と違って興味深かったのは体育の授業です。単位はもらえない授業ですが、バドミントン、水泳、ヨガなど体育の授業がたくさんあり、種目別に細分化されていました。面白そうだったのでヨガの授業を取りました。体育は教室で座って聴く講義と違って、学生とコミュニケーションを取る機会がたくさんあるので友達もできるし運動不足も解消できるので個人的におすすめです。他の授業でもグループプレゼンや講義中に教授から意見を求められるような授業では学生と会話する機会も自然に増えるので良かったと思います。



淡江大学では授業の他に、スタディメイトとチャットコーナーという活動に参加していました。スタディメイトは留学生と台湾人学生がバディを組んで言語交換をしたり、勉強を教えてもらったりする活動です。私のスタディメイトは日本語を勉強し始めたばかりの台湾人の女の子で、言語交換をしたり、勉強を教えてもらう他に、一緒に遊びに行ったり食事をすることも多くとても仲良くなりました。チャットコーナーは、週に一度か二度、台湾人学生と留学生が数人で集まって中国語で会話する活動です。この活動では自分の他に中国語がネイティブの台湾人だけでなく、中国語を勉強している留学生も交えて複数人で会話するので、中国語を勉強する上でとても刺激的な時間になり、言語の上達に繋がったと思います。またこれらの活動以外にも、部活動に参加したりバイトをしている交換留学生もいました。時間に余裕があればやってみるのも良い経験になるのではないかと思います。



また、私は大学内にある学生寮で生活していました。寮は二人一部屋の女子寮の留学生のフロアで、風呂、トイレ、洗面所は同じフロアの学生たちと共同でした。キッチンはありませんでしたが、建物の下には食堂とコンビニがあり、学校の近くにも食べる場所はたくさんあったので困ることはなかったです。台湾には安くて美味しいものが本当にたくさんあり、中には日本人でも食事が合わないという人もいましたが私には合っていました。日本でも台湾料理が流行っていますが、日本ではなかなか食べられない安くて美味しいローカルな料理もたくさんあるので、台湾に留学に行くと料理も楽しめると思います。寮ではよく夜遅くまでフロアのみんたと話したり、パーティをしたり、本当に楽しい時間を一緒に過ごしました。寮で一緒に過ごすだけでなく、旅行やハロウィン、クリスマス、年越しなどのイベントをいつも一緒に過ごしたのでかけがえのない思い出になりました。



留学を通して私が最も言いたいことは、やろうかどうか迷ったことは何でもやってみることです。講義中、主張の強い他国からの留学生の前で意見を言うことに委縮してしまったり、留学生が私一人だけのグループのプレゼンの準備で英語開講の授業なのにグループ内では中国語で話が進みついていくのに必死だったり、大変だったりやりたくないと思ってしまうこともありましたが、しかし逃げずに頑張って終わってみれば、やってよかったなあと思うことばかりでやらなければよかったと思うことは一つもなかったです。上手くいかなくて大失敗したとしても必ず自分の人生の肥やしになると思います。こんなことを言う私も根はとても心配性な性格なのですが、やる前にあれこれ心配していることほど案外どうにかなって心配していなかったことほど想定外のことが起こったりもするので、考えても仕方がないしなるようになると思えば振り切ったほうが楽でした。また日本を含めいろいろな国から留学に来ている学生たちは、好奇心旺盛でいろんなことにチャレンジしている学生が多く、とても刺激的でした。出会いの数だけ自分の価値観を広げたり、新しい考えに触れたりする機会が増えると思うので、たくさんの人とのつながりをこれからも大事にしていきたいです。留学の一日目には誰一人知り合いがいないところから始まりますが、いろいろな場面で本当にいろいろな人に出会えます。素敵な人たちとつながるチャンスはどこにでも転がっているので逃さないようにしていれば充実した留学生活を送れると思います。